

## 3 ボランティア派遣/災害救援復興支援事業

目標	中期事業方針(5)、(6)の達成。また、当会に賛同する組織を受け入れることにより、地球的視野を持つ人材を幅広く育成する。同時に、参加者それぞれが現地経験を活かす場として、JHPの各種活動(特にイベントや広報)に積極的に参加してもらう体制を作る。
中期事業計画(2012～2014年度)	1)カンボジア隊派遣(年2回)を継続する。但し、学生を取り巻く環境の変化を考慮し、派遣時期や活動期間を検討する。 2)当会に賛同する組織の受け入れ、会員や支援者の輪を広げる。特に大学の単位認定に繋がるプログラム構築に協力する。 3)緊急救援を含めた国内外派遣については、東日本大震災の救援活動を継続。その他の派遣は、通常業務と並行してより多くの派遣実績を上げられるように事務局体制を整備する。
<b>事業名</b>	<b>2013年度の活動内容、目標など</b>
カンボジア隊	年2回、延べ32名(役職員4名、学生・社会人28名)を派遣する。 8月隊:2013年8月上旬～8月27日(3週間)、3月隊:2014年3月1日～3月15日(2週間)
賛同組織受入	東京未来大学ボランティアプログラム(2013年12月予定)等の受け入れに協力する。
災害救援復興に関わる国内外派遣	1)東日本大震災:宮城県南三陸町の災害ボランティアセンターや他の組織、町民と連携して、復興に必要とされる精神面での支援、施設や備品、植樹の支援を行う。また、同町の復興の人的貢献としてボランティアメンバーの派遣を継続する。 2)緊急支援:当会が支援対象とする地域や規模、支援内容を明確に定め、その範囲において災害救援基金を初動資金とした調査、活動を実施する。また、必要に応じて災害救援基金を呼びかける。 3)支援体制整備:緊急支援時にも通常業務が安定して継続できるような体制を準備する。 4)その他:関係諸団体等の要請や情報を得ながら、必要とされる国、地域にボランティアを派遣する。

## 4 啓蒙活動事業

事業の目標	中期事業方針(3)、(7)、(9)の達成を通じて、活動に必要な財源確保、人材育成、各種募集を行う。
中期事業計画(2012～2014年度)	基本的には2012年度の事業を継続する。中期事業として特記すべき内容は以下の通り。 1)20周年事業関連 ①2013年9月に満20年を迎えるにあたり主催イベントを実施する。 ②学校建設300棟記念に関連して、贈呈式に参加する記念ツアーを実施する。 ③2013年秋を目標に当会ホームページのリニューアル準備をする。 ④2013年度の活動記録集を20周年記念号とし、特集記事を掲載する。 ⑤顕著な活動実績のある「地域サポーター」には、20周年関連事業への参画を促す。 2)小山内美江子国際ボランティア・カレッジ:現状を維持して国内講義、カンボジア研修を継続する。 3)広報:会報のカラー化を皮切りに、紹介ビデオ等の広報ツールを全体的にリニューアルさせる。 4)絵画募集:日本の学校からカンボジア絵画展への応募作品を募集し、両国の子ども達の文化交流を促進させる。また、各種活動紹介の機会を活用し日本でカンボジア絵画展作品を展示する。 5)地域ネットワーク:2014年度末には、各都道府県1名以上のサポーター体制を整える。
<b>事業名</b>	<b>2013年度の活動内容、目標など</b>
チャリティーイベント	1)天満敦子氏ヴァイオリンコンサート 来場者が国際支援への関わりを実感し、カンボジアの音楽教育プロジェクトの支援に繋げることを目的とする。来場者は450名(内、新規来場者50名)を目標とする。 ■日程:2013年7月6日(土)、場所:第一生命ホール 2)20周年記念イベント・交流会 ■日程:2014年1月11日(土)、場所:東京都産業貿易センター展示室・会議室 3)他組織主催イベントへの参加、協力 当会支援の目的で行われる他組織のイベントに対して、求められる範囲で協力する。
スタディツアー	1)JHPスタディツアー 当会の主な活動地であるカンボジアを紹介しプロジェクトを理解してもらうためのツアーを年1回実施する。 ■日程:2013年12月中旬～下旬 参加者目標:15～20名 2)300棟記念贈呈式ツアー 300棟募金者向けに、贈呈式に参加するツアーを1回実施する。 ■日程:2013年9月21日～9月26日 参加者目標:20名以上、50名以下。

<b>事業名</b>	<b>2013年度の活動内容、目標など</b>
写真展	会員、活動参加者のリピート対策、会議室の有効利用、及び次年度カレンダーに適した写真や広報用の写真等の発掘を目的とする。また、来場者への個別JHP紹介、会員入会案内をすることで会員を募る。 ■日程:2013年5月中旬、場所:JHP東京事務所会議室
報告会	1)海外ボランティア活動参加者による報告会を年2回(5月、10月)実施。その際に次回派遣の説明も行う。 2)海外駐在員やローカルスタッフ、専門家の帰国報告会を実施する。(年3回程度)
機関紙発行	会報を通して会員や支援者へ活動報告・各種広報を行い、活動への支援を呼びかける。同時に、会の活動実績を表すための記録とする。2013年度の発行概要は以下の通り。 1)会報を年3回3,300部発行し、その他必要な情報発信の時期に合わせて年1～2回DMを送付。2)会報カラー印刷の継続。(2012年3月発行の第57号から導入)3)希望者に対して会報データのPDF送信を促進。年間20件の増加を目標とする。4)透明封筒使用により開封率を高める。
記録集発行	1)会員への報告として、ボランティア派遣活動及び特集記事をまとめた冊子を20周年記念号として編集し、2013年12月に発送する。 2)ボランティア希望者や支援者拡大のツールとして、イベントでのバックナンバー配布、大学の図書館への配架などを積極的に進める。
ホームページ	1)現ホームページを定期的に管理更新し、当会の活動詳細を広報し、具体的な寄付や参加を呼びかける。2012年度はアクセス数増加を目指し、ユニークユーザー数100/日を目指とする。 2)2013年度中のホームページのリニューアルを目指し準備をする。
広報ツール制作	1)リーフレット:2013年度内の刷新に向けて準備を進める。 2)活動紹介ビデオ:新紹介ビデオを制作し、会員・寄付者の増加に繋がるツールとする。特に、講演会、企業への提案、学校対応、オリエンテーション等で、最近の活動を映像で効果的に伝えるための資料とする。
メールマガジン	活動に関心を持っている幅広い層に向けて情報を伝えるメールマガジンを隔週ペースで発行する。
オリエンテーション	当会活動を紹介し、会員・支援者を募集し、同時に活動への参加を促す。開催は、毎月第1土曜日(10:00～11:00)と第4金曜日(19:00～20:00)を予定。
各種講義・講演	日本各地の組織、団体の依頼に応じて、当会活動や国際協力に関する講義を積極的に行う。
イベント出展	主催事業も含め、各地のイベントに年15回程度参加し、活動の宣伝を行う。同時に、海外活動に関連した製品や図書等の物販を行う。年間の売上目標は80万円とする。
カレンダー・ポストカード販売	1)当会のオリジナルカレンダーを制作し、販売や宣伝活動を通じて当会の広報を行う。制作部数は約1200部、販売目標は800部とする。 2)カンボジアの子どもが描いた作品を使用したポストカードを販売/寄贈することを通じて、JHPの活動、特に教育支援事業(美術)の広報を行うとともに、寄付や会員の増加を目指す。
絵画募集	1)当会美術教育支援事業の広報の機会、絵画を通じた日本の子どもの国際交流促進を目的として、第12回カンボジア絵画展に出展する日本の小学生以上の絵を募集する。(目標:300点) 2)2013年度に各種活動紹介の機会を活用し日本でカンボジア絵画展作品を展示する。
支援物資募集及び海外輸送	1)各種事業に必要な教材・備品(楽器、新品の画材、机・椅子、自転車)を募集し、カンボジアに輸送する。 2)東京事務所にて随時楽器清掃ボランティアを受け入れる。また、月に1～2回の割合で楽器清掃日を設ける。 3)江東区及び海外リサイクル支援協会との三者協働事業を継続し、中古机・椅子の輸送を行う。
地域ネットワーク	1)各地域の会員から「地域サポーター」を募集し、広報モニター、資料配布、事務局への情報提供の3つの活動を担ってもらう。また20周年事業への協力を依頼する。年度末のサポーター数は30名以上とする。 2)サポーターからの連絡や情報をもとに、「地域に根ざした活動」を事務局でフォローする。
小山内美江子国際ボランティア・カレッジ	第8期目となる「国際ボランティア・カレッジ」を継続運営し、グローバル社会で生きることを志す人々に、国際NGOにふさわしい新しい学びの場を提供する。第8期は、受講生30名、聴講生250名を目標とする。 1.講義:2013年9月上旬～2014年2月中旬まで約70回。 2.カンボジア研修:2014年2月下旬から3月中旬まで約3週間派遣。内容は、遊具建設、NGO視察、各種講義、アンコール遺跡研修など。
コーディネート	当会事業の見学や交流会を希望する会員、企業、団体、個人を受け入れ、活動を積極的に紹介する。